

警 防 編

車両の配置状況	4 0
消防水利の状況	4 0
消防機材の配置状況	4 1
火災の概要	4 2
市町村別の火災状況	4 3
月別の火災件数	4 4
原因別の出火件数	4 5
火災件数 10 年の推移	4 5
救急の概要	4 6
市町村別の救急状況	4 7
月別、時間別の出動件数	4 8
年齢区分別、程度別、月別の搬送状況	4 9
程度別の搬送状況	5 0
救急出動件数 10 年の推移	5 0
応急手当の普及啓発活動状況	5 1
救命スタッフのいる事業所認定制度	5 1
救助の概要	5 2
月別、市町村別の出動件数	5 2
発生場所別の出動件数	5 3
事故種別出動件数比率	5 3
出動人員、活動人員	5 4
救助出動件数 10 年の推移	5 4
通信指令系統図	5 5
119 番着信状況	5 6
医療機関案内状況	5 6

用語の定義

建物火災焼損程度

- 全 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70パーセント以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- 半 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント以上のもので全焼に該当しないものをいう。
- 部 分 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント未満のものでぼやに該当しないものをいう。
- ぼ や …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損表面積が1平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

救急事故種別

- 火 災 …… 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
- 自然災害 …… 暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
- 水難事故 …… 水泳中（運動競技によるものを除く。）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- 交通事故 …… すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- 労働災害 …… 各種工場、事業所、作業所、工事現場等で就業中発生した事故をいう。
- 運動競技 …… 運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故をいう。
- 一般負傷 …… 他に分類されない不慮の事故をいう。
- 加 害 …… 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
- 自損行為 …… 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
- 急 病 …… 疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
- そ の 他 …… 転院搬送、医師・看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のもの（傷病者不搬送件数のうち、上記の救急事故に分類不能のものを含む。）をいう。

車両の配置状況

車種	配置先	消 防 本 部	消 防 署					合 計
			本 署	東 部 分 署	西 部 分 署	朝 倉 出 張 所	東 出 張 所	
指 揮 車			1					1
水そう付ポンプ車			1	1	1	1	1	5
ポ ン プ 車			1		1			2
化 学 車			1					1
は し ご 車			1					1
救 助 工 作 車			1					1
司 令 車				1	1	1	1	4
高規格救急車			2	1	1	1	1	6
資材運搬車			2					2
防火広報車		1						1
支 援 車			1					1
その他の車両		2	1					3
合 計		3	12	3	4	3	3	28

消防水利の状況

種 別 市町村別	消火栓	防火水そう		井 戸		プールの 20t以上	合 計
		40t以上	20t以上	40t以上	20t以上		
朝倉市 (旧甘木市)	451	205	32	56	4	13	761
朝倉市 (旧杷木町)	141	60	4		2	1	208
朝倉市 (旧朝倉町)		103	7	14	2	1	127
東峰村	11	57	3			2	73
筑前町	387	271	24	1	1	8	692
合 計	990	696	70	71	9	25	1,861

消防機材の配置状況

種 別	配置先	本	東	西	朝	東	合
		署	部分署	部分署	倉出張所	出張所	
消 防 用 資 器 材	カギ付はしご	4	1				5
	三連はしご	5		1			6
	空気式救助マット	1					1
	救命索発射銃	1					1
	可搬式ウィンチ	2					2
	マンホール救助器具	1					1
	マット型空気ジャッキ	1					1
	大型油圧スプレッダー	1					1
	エンジンカッター	4	1	1	1	1	8
	ガス溶断器	1					1
	チェーンソー	8	2	3	2	2	17
	大型油圧切断機	1					1
	万能斧	6	2	2	2	2	14
	可燃性ガス測定器	1	1	1	1	1	5
	空気呼吸器	28	4	7	4	4	47
	酸素呼吸器	5					5
	潜水器具一式	6					6
	救命ボート	3					3
	船外機	3					3
	投光器一式	12	1	3	1	1	18
	緩降機	1					1
化学防護服	4					4	
充電式油圧救助器具	1	1	1	1	1	5	
エアータント	2					2	
救 急 資 器 材	気道確保資器材一式	2	1	1	1	1	6
	自動体外式除細動器	3	2	2	2	2	11
	ショックパンツ	2	1	1	1	1	6
	輸液用資器材一式	2	1	1	1	1	6
	患者監視装置	2	1	1	1	1	6
	自動心臓マッサージ器	1	1	1	1	1	5
	喉頭鏡・マギール鉗子	3	1	1	1	1	7
	室内オゾン殺菌装置	2	1	1	1	1	6

火災の概要

令和4年中の出火件数は51件で前年より30件の増加となり、これは月平均4.3件、約7日に1件の割合で火災が発生したことになります。火災種別ごとにみると建物火災19件（37.2%）、林野火災3件（5.9%）、車両火災3件（5.9%）、その他の火災26件（51.0%）となっています。

損害額は98,043千円で、前年より88,535千円の増加となりました。また、火災により20世帯51人がり災し、死者1名、負傷者5人が発生しています。

項	目	単位	令和4年	令和3年	比較（▲減）
	火災発生件数	件	51	21	30
内 訳	建物火災	件	19	7	12
	林野火災	件	3	1	2
	車両火災	件	3	6	▲ 3
	その他火災	件	26	7	19
総	損害額	千円	98,043	9,508	88,535
内 訳	建物損害額	千円	63,936	8,755	55,181
	（内収容物損害額）	千円	7,854	5,134	2,720
	林野損害額	千円	234		234
	車両損害額	千円	2,884	547	2,337
	その他損害額	千円	30,989	206	30,783
	建物焼損床面積	m ²	1,033	70	963
	建物焼損表面積	m ²	124	4	120
	林野焼損面積	a	13	175	▲ 162
	焼損棟数	棟	28	7	21
	り災世帯数	世帯	20	2	18
	り災人員	人	51	3	48
	死者数	人	1		1
	負傷者数	人	5	1	4
	一月平均火災件数	件	4.3	1.8	2.5
	出火率	件	6.1	2.5	3.6
	管内人口	人	83,032	83,532	▲ 500

（注）出火率は人口1万人当たりの出火件数（人口は各年12月31日現在の住民基本台帳人口）

市町村別の火災状況

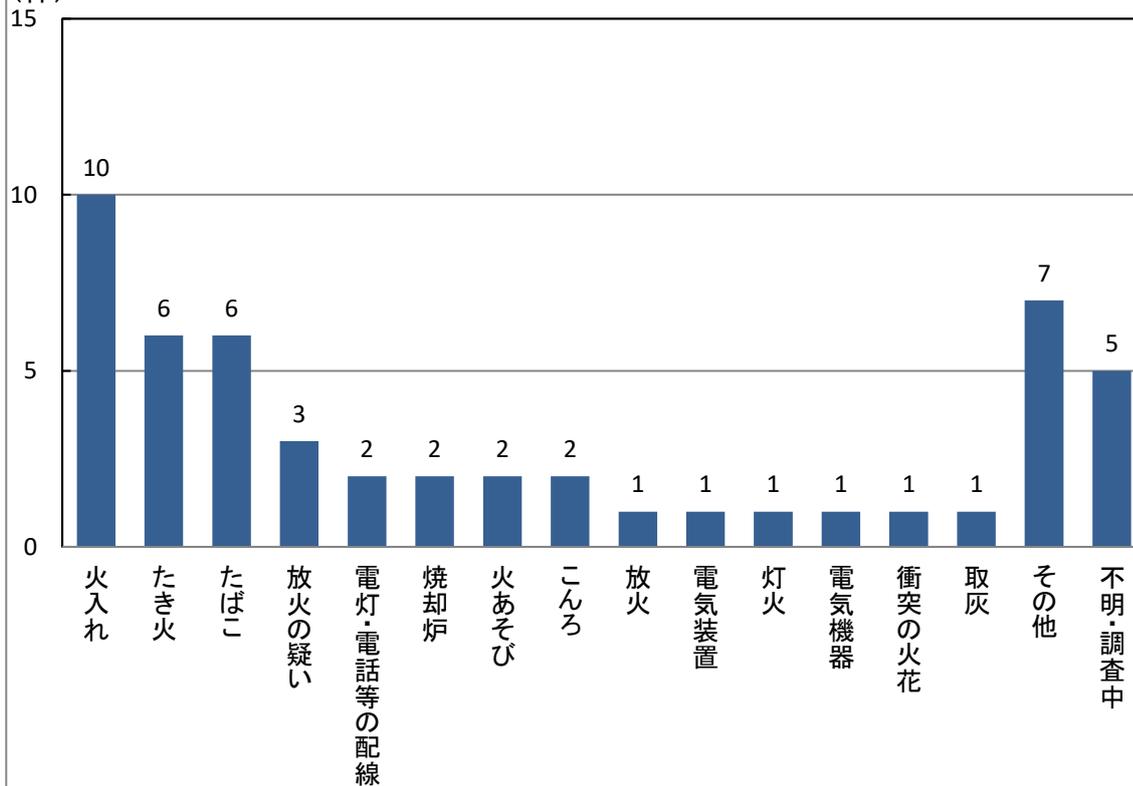
項目		市町村別		合計		朝倉市		東峰村		筑前町	
		年別		令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
火災件数	建物火災	19	7	11	6					8	1
	林野火災	3	1	3							1
	車両火災	3	6	2	3			1		1	2
	その他火災	26	7	19	7	3				4	
	合計	51	21	35	16	3	1	13	4		
損害額 (千円)	建物損害額	63,936	8,755	58,548	1,536					5,388	7,219
	(内収容物損害額)	7,854	5,134	7,459	407					395	4,727
	林野損害額	234		234							
	車両損害額	2,884	547	1,298	310		47	1,586	190		
	その他損害額	30,989	206	4,575	206	803		25,611			
	合計	98,043	9,508	64,655	2,052	803	47	32,585	7,409		
焼損面積	建物焼損床面積(m ²)	1,033	70	953	13					80	57
	建物焼損表面積(m ²)	124	4	122	4					2	
	林野焼損面積(a)	13	175	13							175
車両焼損台数		11	7	9	4			1		2	2
焼損棟数	全焼	8		7						1	
	半焼	2	2	1	1					1	1
	部分焼	6	2	5	2					1	
	ぼや	12	3	6	3					6	
	合計	28	7	19	6					9	1
り災世帯数	全損	6		5						1	
	半損	2								2	
	小損	12	2	7	2					5	
	合計	20	2	12	2					8	
り災人員		51	3	34	3					17	
死傷者	死者	1		1							
	負傷者	5	1	3	1	1		1			

月別の火災件数

項目		月別												
		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災発生件数	建物火災	19	1	3	1	1	1		2	3	3	2		2
	林野火災	3		1	1	1								
	車両火災	3								1		1		1
	その他火災	26	2	2	3	3	3	6		2	1	4		
	合計	51	3	6	5	5	4	6	2	6	4	7		3
損害額 (千円)	建物損害額	63,936	124	3,220	17,957	458	262		2,500	25,738	11,553	2,025		99
	(内収容物損害額)	7,854		311	838	75	247		79	4,221	2,043	30		10
	林野損害額	234		234										
	車両損害額	2,884			548					250	470	1,586		30
	その他損害額	30,989		3	26,522	731	19	1,273		2,373	36			32
	合計	98,043	124	3,457	45,027	1,189	281	1,273	2,500	28,361	12,059	3,611		161
焼損面積	建物焼損床面積 (㎡)	1,033		154	236	29	18		2	445	89	60		
	建物焼損表面積 (㎡)	124				2			1	95	24	1		1
	林野焼損面積(a)	13		4	4	5								
車両焼損台数		11			4					2	2	2		1
焼損棟数	全焼	8		1	2	1	1			2	1			
	半焼	2									1	1		
	部分焼	6				1			2	2	1			
	ぼや	12	1	2	1					3	1	2		2
	合計	28	1	3	3	2	1		2	7	4	3		2
り災世帯数	全損	6		1	1		1			2	1			
	半損	2									1	1		
	小損	12	1	1						5	1	2		2
	合計	20	1	2	1		1			7	3	3		2
り災人員		51	1	5	1					23	9	9		3
死傷者	死者	1			1									
	負傷者	5		2						1	2			

原因別の出火件数

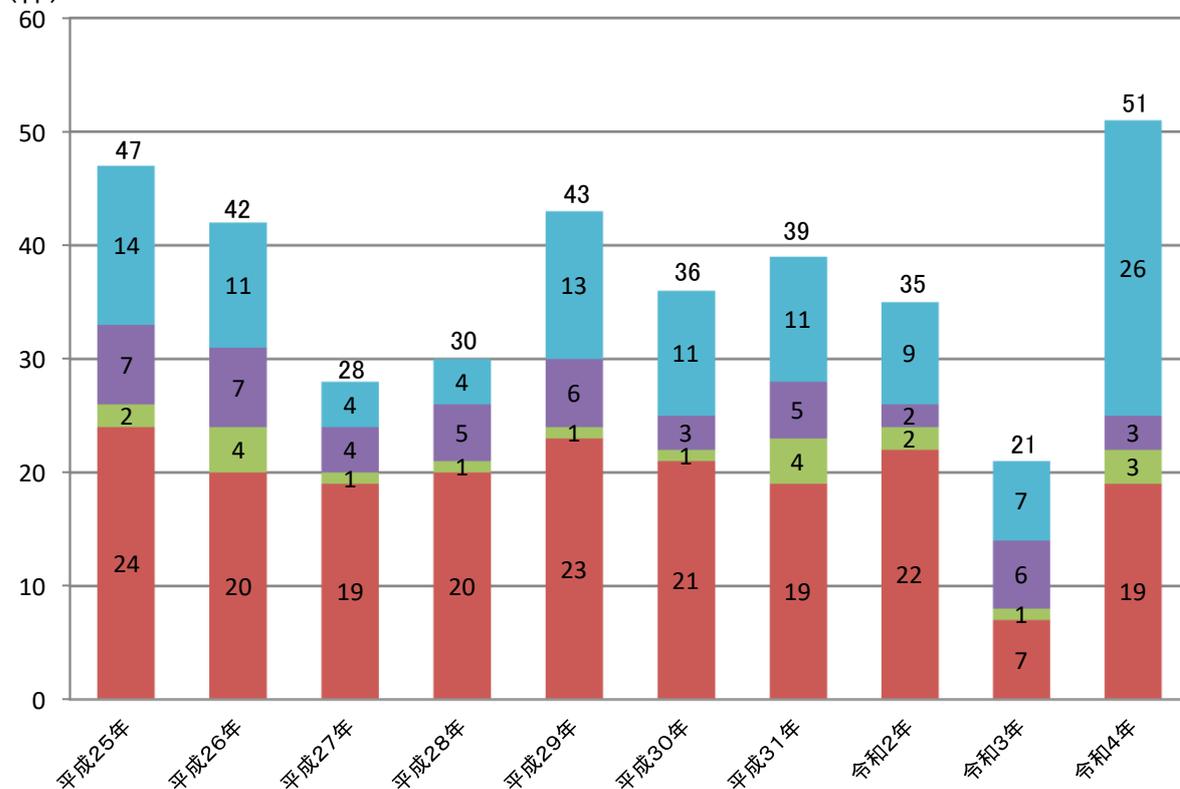
(件)



火災件数10年の推移

■ 建物 ■ 林野 ■ 車両 ■ その他

(件)



救急の概要

令和4年中の救急出動件数は4,240件で、前年に比べて517件の増加となりました。これは1日平均11.6件（前年10.2件）で約124分に1件の割合で出動し、管内住民約22人に1人が救急車を利用したことになります。これを事故種別ごとにみると急病2,815件（66.4%）、一般負傷653件（15.4%）、転院搬送342件（8.1%）、交通事故260件（6.1%）、これ以外の出動件数は170件（4.0%）となっています。

また、管内には第三次救急医療機関が無いため、管外への転院搬送が大きな比率を占めています。

項	目	単位	令和4年	令和3年	比較（▲減）
出	動	件数	4,240	3,723	517
搬	送	件数	3,804	3,449	355
不	搬	送	436	274	162
出	火	災	5	1	4
	自	然			
	水	難	1		1
	交	通	260	251	9
	労	働	96	74	22
	運	動	17	20	▲ 3
	一	般	653	624	29
	加	害	5	6	▲ 1
	自	損	30	33	▲ 3
	急	病	2,815	2,368	447
内	そ の 他	転	342	328	14
		医			
		資			
		そ	16	18	▲ 2
搬	送	人	3,828	3,475	353
傷	死	84	88	▲ 4	
	重	478	439	39	
	中	1,830	1,739	91	
	軽	1,436	1,208	228	
	そ		1	▲ 1	
1	日	平均	11.6	10.2	1.4
1	隊	平均	848	745	103
救	急	車	管内住民約22人に1人	管内住民約24人に1人	
管	内	人	83,032	83,532	▲ 500

（注）人口は各年12月31日現在の住民基本台帳人口

市町村別の救急状況

項目	単位	朝倉市	東峰村	筑前町	管外	合計	
出動件数	件	2,751	121	1,362	6	4,240	
搬送件数	件	2,497	99	1,203	5	3,804	
搬送人員	人	2,505	99	1,219	5	3,828	
出動件数の内訳	火災	件	4		1	5	
	自然災害	件					
	水難	件	1			1	
	交通事故	件	140	7	107	6	260
	労働災害	件	62	6	28		96
	運動競技	件	8		9		17
	一般負傷	件	425	20	208		653
	加害	件	3		2		5
	自損行為	件	21	2	7		30
	急病	件	1,778	83	954		2,815
	その他	転院搬送	件	297	2	43	342
		医師搬送	件				
		資器材搬送	件				
		その他	件	12	1	3	16
傷病程度	死亡	人	46	4	34	84	
	重症	人	352	15	110	1	478
	中等症	人	1,186	48	594	2	1,830
	軽症	人	921	32	481	2	1,436
	その他	人					
1日平均出動件数	件	7.5	0.3	3.7	0.1	11.6	
各市町村人口	人	50,891	1,912	30,229		83,032	

(注) 人口は各年12月31日現在の住民基本台帳人口

月別、時間別の出動件数

(単位:件)

種別 月別 時間帯別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
1月	337				13	3	1	64		4	228	23			1
2月	330	1			18	8		51			221	30			1
3月	317	1			19	4	2	50		2	213	26			
4月	338				23	10	2	54	1	3	214	30			1
5月	320				20	5	1	57		1	216	19			1
6月	317				23	10		51	2	3	191	30			7
7月	399				21	12	3	47		4	284	27			1
8月	446	1			20	10	1	45	1	5	329	34			
9月	325	2			30	6		50	1	2	209	22			3
10月	330			1	22	10	2	58		2	207	28			
11月	322				21	11	1	50		1	201	37			
12月	459				30	7	4	76		3	302	36			1
合 計	4,240	5		1	260	96	17	653	5	30	2,815	342			16
0～2	155	1			2	1		21	1	2	119	8			
2～4	129				4			17		1	102	5			
4～6	136				5			10		1	117	2			1
6～8	271				19	3		36	1	7	202	1			2
8～10	511				47	21	2	83		2	324	30			2
10～12	507				27	13	6	92		3	299	66			1
12～14	561				28	17	1	74	1	3	361	74			2
14～16	463	1			37	24	3	73		2	268	53			2
16～18	447				38	11		76	1	1	269	48			3
18～20	478	3		1	35	3	1	77	1	3	320	32			2
20～22	321				11	1	3	49		5	245	7			
22～24	261				7	2	1	45			189	16			1

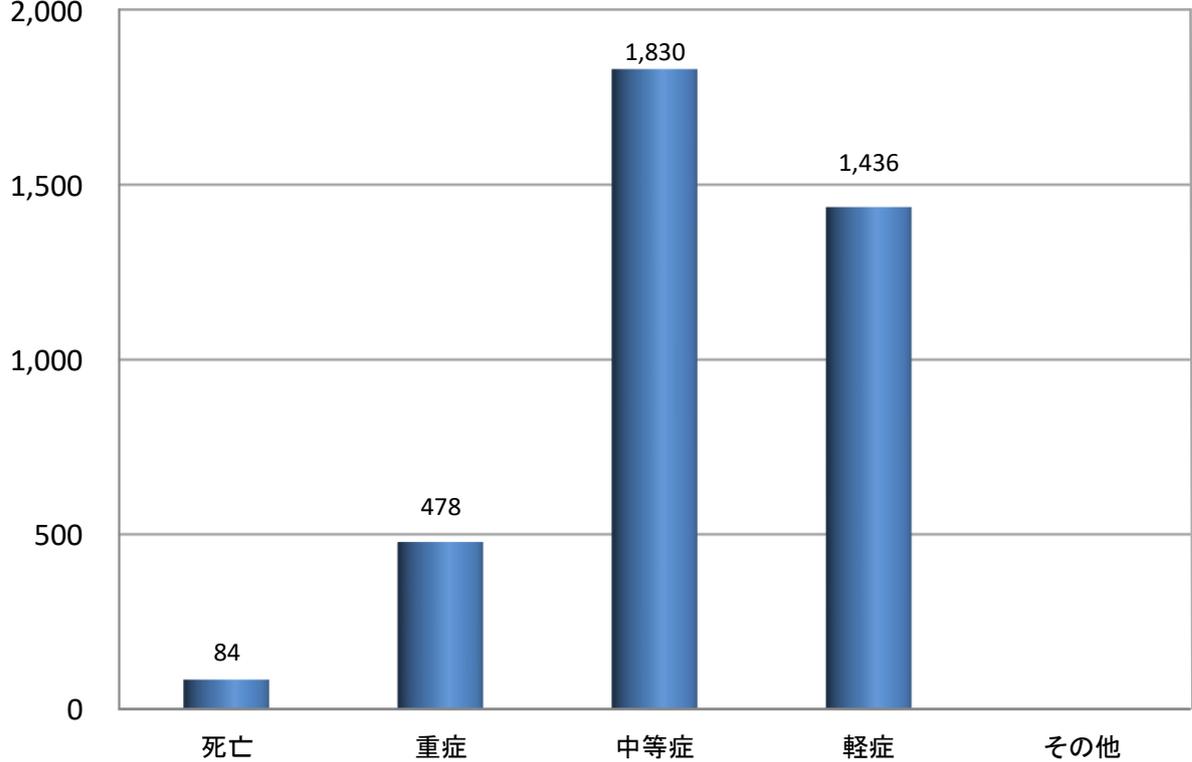
年齢区分別、程度別、月別の搬送状況

(単位:人)

種別 項目	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
搬送人員	3,828	4			253	90	17	575	4	18	2,526	341			
年齢区分別	新生児	2						1			1				
	乳幼児	136	1			4		25			98	8			
	少年	141				32	13	15			74	7			
	成人	963				143	64	4	69	3	15	593	72		
	高齢者	2,586	3			74	26		465	1	3	1,760	254		
程度別	死亡	84				1	3		13		5	61	1		
	重症	478	1			15	10	1	90		3	268	90		
	中等症	1,830				65	39	4	263	2	7	1,229	221		
	軽症	1,436	3			172	38	12	209	2	3	968	29		
	その他														
月別	1月	308				14	3	1	58		2	207	23		
	2月	293	1			21	8		43			190	30		
	3月	291				22	4	2	43		2	192	26		
	4月	314				20	9	2	53	1	2	197	30		
	5月	296				20	5	1	52		1	198	19		
	6月	287				20	10		43	2	2	180	30		
	7月	364				20	12	3	42		2	258	27		
	8月	384	1			20	9	1	36		2	281	34		
	9月	301	2			28	6		45	1	1	196	22		
	10月	302				21	8	2	49		2	192	28		
	11月	293				20	10	1	46		1	178	37		
	12月	395				27	6	4	65		1	257	35		

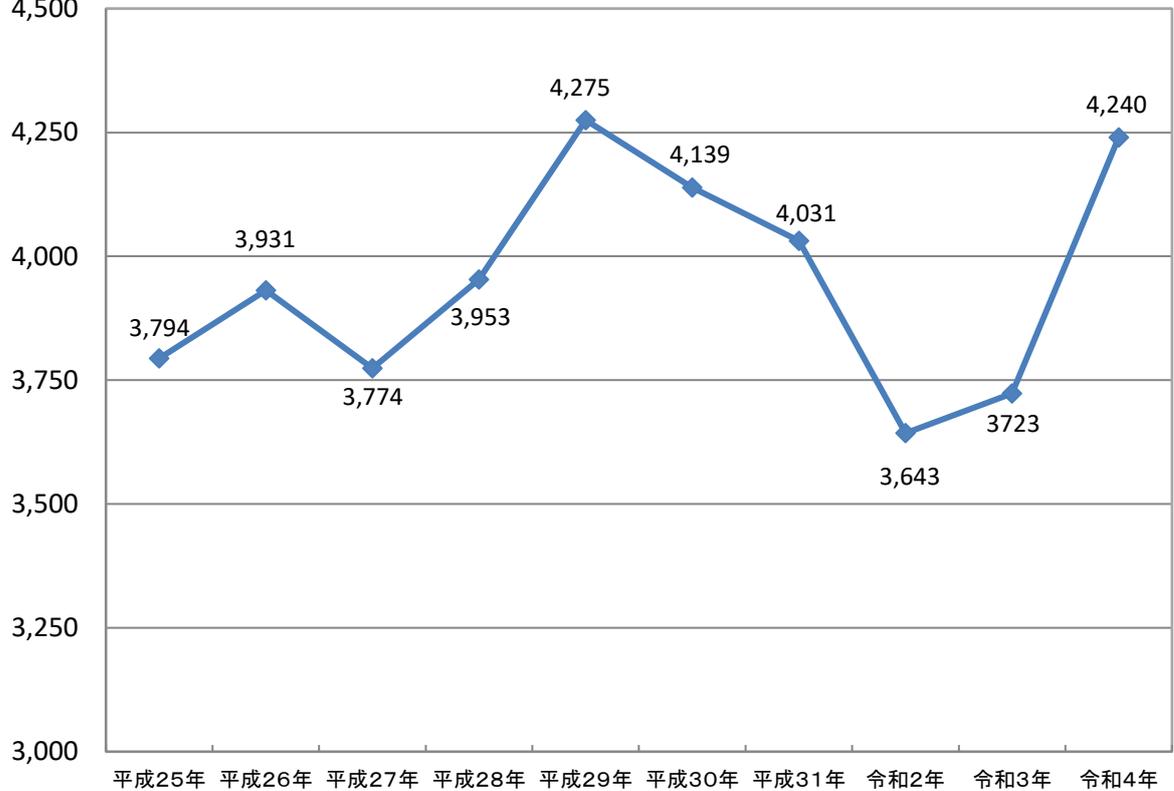
程度別の搬送状況

(人) 2,000



救急出動件数10年の推移

(件) 4,500



応急手当の普及啓発活動状況

区分 年 別	救 命 講 習			
	講 習 回 数	新規受講者数	再受講習者数	合 計
平成 20 年	59	1,138	268	1,406
平成 21 年	33	692	104	796
平成 22 年	41	791	106	897
平成 23 年	45	882	115	997
平成 24 年	42	1,047	112	1,159
平成 25 年	39	987	65	1,052
平成 26 年	42	963	133	1,096
平成 27 年	38	812	52	864
平成 28 年	41	999	134	1,133
平成 29 年	26	575	85	660
平成 30 年	28	679	33	712
平成 31 年	32	708	41	749
令和 2 年	26	473	43	516
令和 3 年	15	274	32	306
令和 4 年	28	464	18	482
合 計	535	11,484	1,341	12,825

※ 過去15年間の新規受講者総数は11,484人で管内住民の約7人に1人が救命講習を受講したことになります。平成29年7月九州北部豪雨の影響のため、平成29年7月から平成30年2月まで救命講習を一時中止しています。また、令和2年から令和3年にかけて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、救命講習の中止や人数制限が相次ぎました。

救命スタッフのいる事業所認定制度

消防本部においては応急手当の普及啓発活動を推進するため、積極的に救命講習を開催しております。また一人でも多くの救命を行うことを目的とし、平成16年4月1日より救命講習を受講した事業所を「救命スタッフのいる事業所」として認定する制度を実施しています。

救命スタッフのいる事業所認定状況

(令和5年3月31日現在)

朝 倉 市	東 峰 村	筑 前 町	合 計 (事業所)
73	12	15	100

平成16年度から令和4年度までに各事業所の協力を得て100事業所が認定を受けています。今後、更なる充実強化を目指します。

救助の概要

令和4年中の救助出動件数は66件で、前年より12件の増加となり、事故種別ごとにみると交通事故26件（39.4%）、建物等による事故11件（16.7%）、火災建物1件（1.5%）、水難事故1件（1.5%）、ガス及び酸欠事故1件（1.5%）、その他の事故26件（39.4%）となっています。これらの事故で延べ707人の隊員が出動し、47人を救助しました。

事故種別 項目	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	前年
	建物	建物以外											
出動件数	1		26	1				11	1		26	66	54
出動人員	17		303	13				99	12		263	707	587
救助人員	1		20	1				8	1		16	47	38
出動車両台数	5		100	5				34	4		91	239	200

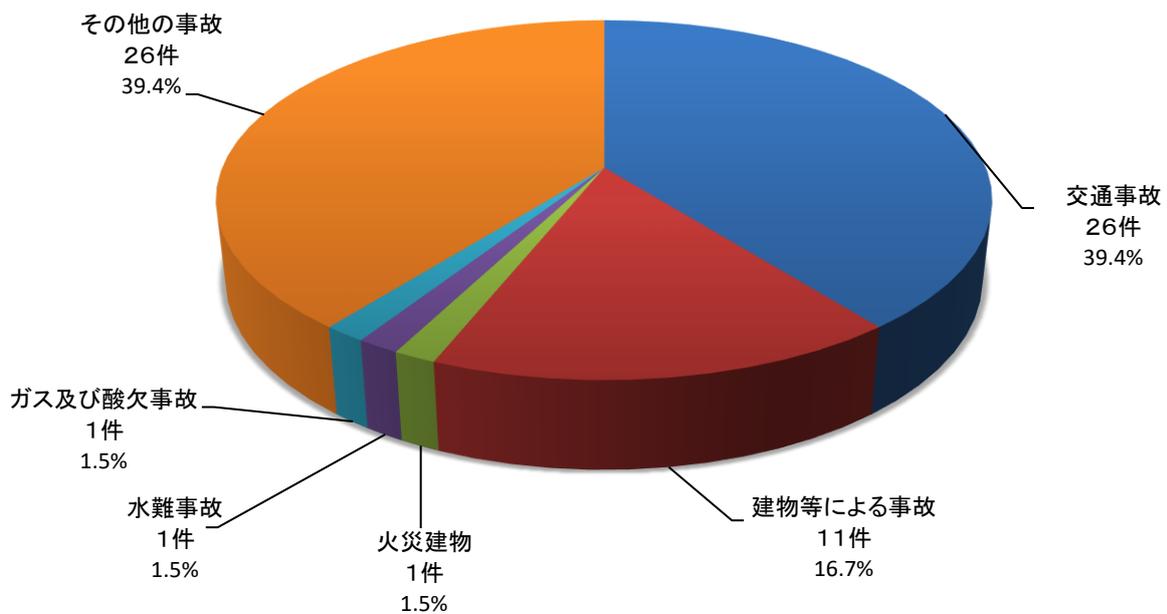
月別、市町村別の出動件数

事故種別 月別 市町村別	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	前年
	建物	建物以外											
1月			1					1			1	3	5
2月			1									1	1
3月	1							3			2	6	3
4月			2					2			3	7	5
5月			1								3	4	6
6月			3					1			4	8	5
7月			1								1	2	8
8月			1						1		2	4	5
9月			6					1			2	9	3
10月			2	1							3	6	6
11月			3								4	7	5
12月			5					3			1	9	2
合計	1		26	1				11	1		26	66	54
朝倉市	1		12	1				8	1		22	45	32
東峰村			1									1	5
筑前町			9					3			4	16	16
管外			4									4	1

発生場所別の出動件数

発生場所		火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	
		建物	建物以外											
屋内	住居	1							11			5	17	
	その他の屋内													
屋外	道路	高速自動車道		4									4	
		その他の道路		12								1	13	
	水面	内水面		2	1								4	7
		外水面												
	山岳											4	4	
	その他の屋外			8						1		12	21	
地下														
その他														
合計		1		26	1				11	1		26	66	

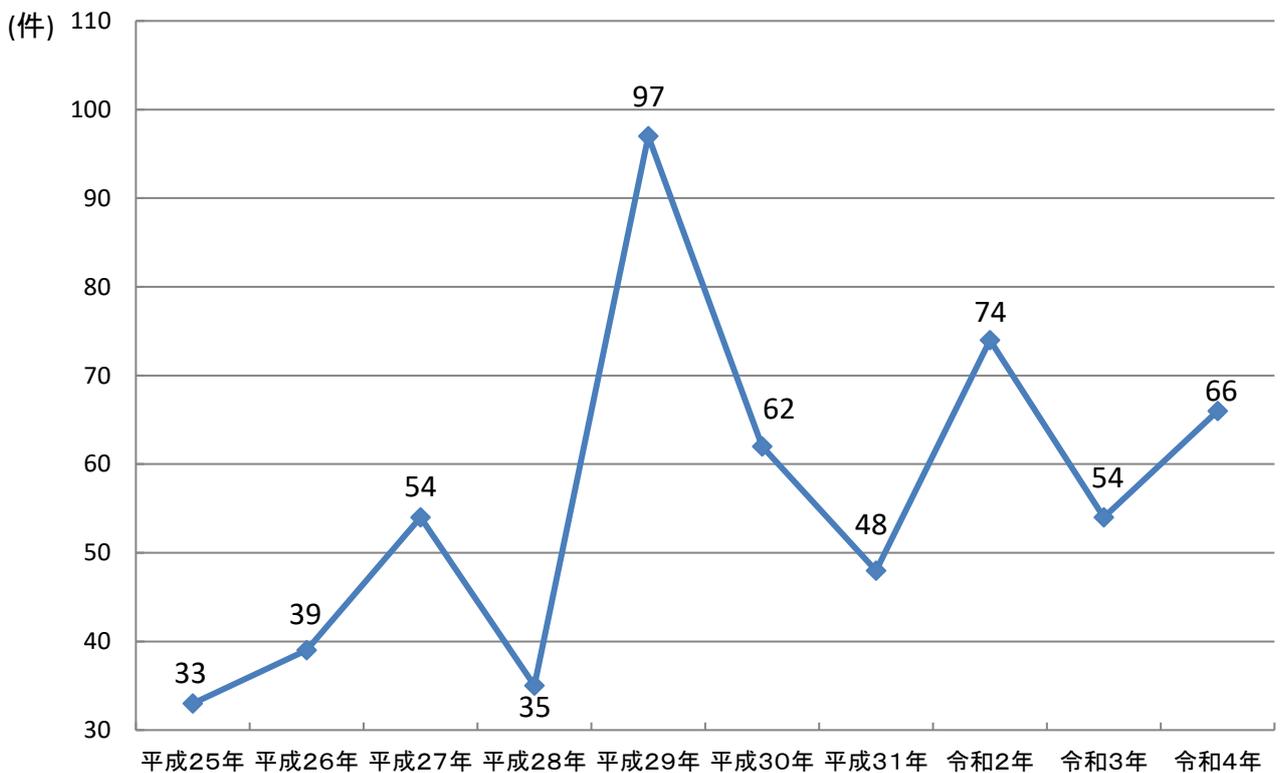
事故種別出動件数比率



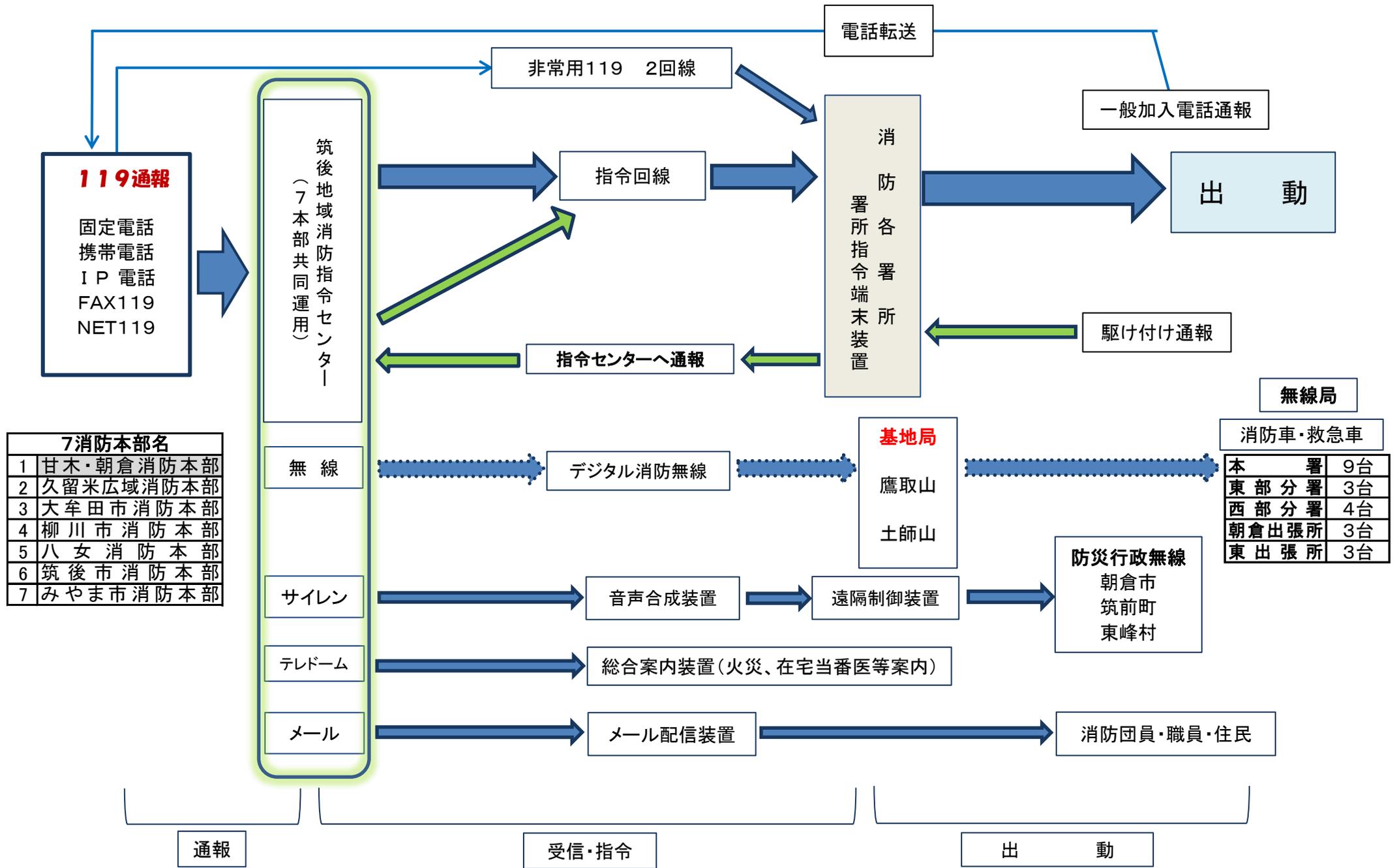
出動人員、活動人員

項目		事故種別		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計	
		火	災											
		建 物	建 物 以 外											
出 動 人 員	救 助 隊 員	4		108	5				37	4		101	259	
	消 防 隊 員	10		92	5				32	5		81	225	
	救 急 隊 員	3		103	3				30	3		81	223	
	消 防 団 員													
	合 計	17		303	13				99	12		263	707	
活 動 人 員	救 助 隊 員	4		36					20			52	112	
	消 防 隊 員	10		37	3				16			45	111	
	救 急 隊 員			57	3				15	3		45	123	
	消 防 団 員													
	合 計	14		130	6				51	3		142	346	

救助出動件数10年の推移



通信指令系統図



119番着信状況

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	7	6	12	13	6	14	4	19	5	14		3	103
救急 救助	360	346	332	362	341	339	427	469	332	342	336	469	4,455
その他 災害	4	13	9	11	15	7	18	58	20	14	13	18	200
合計	371	365	353	386	362	360	449	546	357	370	349	490	4,758

問合わせ 訓練 誤報等	朝倉市			筑前町			東峰村			合計
		644			386			29		

医療機関案内状況

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	2	1	4	7	1	1	4	5	1	4	4	3	37
外科	1		1	4	3		3	1		2	4		19
小児科	1	3		1	1	2	2		1	3	2		16
特殊科	4		2		3		4		5	2		7	27
合計	8	4	7	12	8	3	13	6	7	11	10	10	99